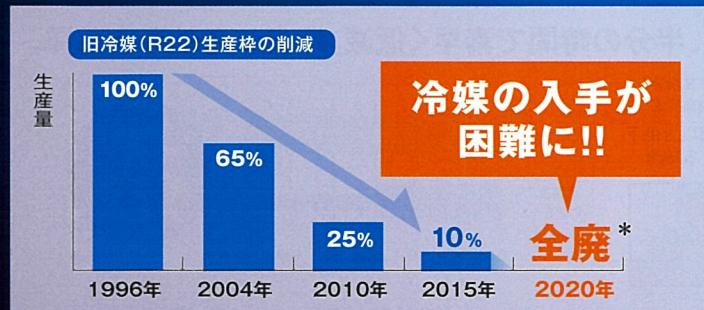


10年以上、お使いの空調機は

## 修理ができない場合があります。

10年以前の旧冷媒(R22)の空調機は、オゾン層を破壊する成分が含まれているため、生産量が規制されており、修理ができない場合があります。



今年遂に、  
R22冷媒全廃!!

\* モントリオール議定書では、2020年時点で現存する冷凍空調機器への補充用途のHCFCに限り、2029年末まで生産を認める特例が存在します。ただし、通商産業省化学品審議会オゾン層保護対策部会中間報告(平成8年3月14日)においては、上記の補充用途も含めて、2020年のHCFC生産・消費量を目標とすることとされています。

修理ができなくなる前に、地球環境に優しいR32冷媒を採用した

## 新しい空調機への 更新をご検討下さい!!



省施工 既設配線・配管の再利用ができます。

### 既設配線

内外配線数を自動識別(標準装備)

接続線を端子台に接続し、電源を入れれば自動的に接続線方式(3線・4線・2線)を認識します。

パナソニック  
ONLY  
[標準対応]

他社製からの  
配線入替えにも対応

### 既設配管

■ 室外機内の『異物除去ストレーナー』が機能部品を保護。

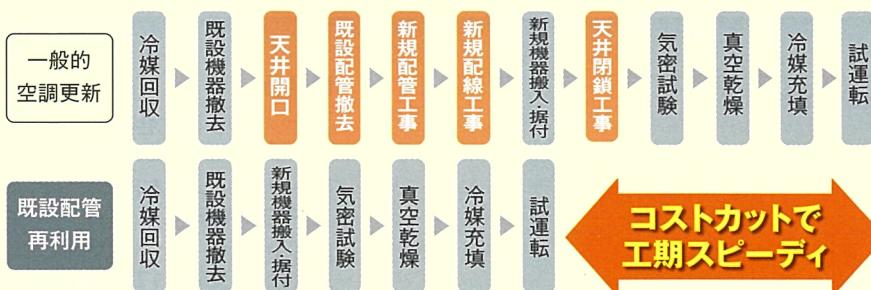
■ 冷凍機油の耐久性をアップし、再利用可能範囲を拡大。

■ 既設配管を利用して『能力アップ』にも対応。



店舗の休業日や営業終了後の  
更新工事も可能

[大幅なコストダウンと工期を短縮]



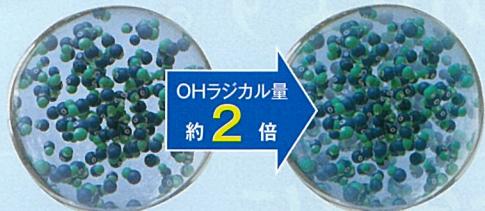
工事費も  
工期も、  
大幅ダウン

\*16年前UCシリーズとの比較。

# 高濃度のナノイーXが素早く清潔空間。

従来「ナノイーX」の、約2倍の  
微粒子イオンを実現。

\* ESR法による測定。  
当社調べ。

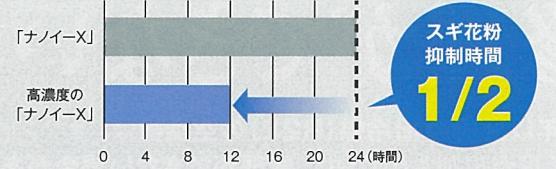
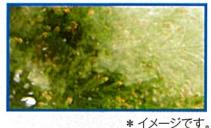


ナノイーX 每秒4兆8,000億個  
高濃度のナノイーX 每秒9兆6,000億個

※1【試験機関】パナソニック(株)プロダクト解析センター【試験方法】約6畳の試験室内で、布に付着させたアレル物質をELISA法で測定【抑制の方法】「ナノイー」を放出【対象】スギ花粉アレル物質【試験結果】スギ花粉(アレル物質)を99%以上抑制する速度が、高濃度の「ナノイーX」で「ナノイーX」比2倍となることを確認(L19YA028-1)  
※2【試験機関】パナソニック(株)プロダクト解析センター【試験方法】試験室(約35畳)において6段階臭気強度表示法により検証【脱臭の方法】「ナノイーX」を放出【対象】付着した加齢臭【試験結果】臭気強度が1.8以上低下するまでの時間を確認(L19YK032-01)

花粉を従来の「ナノイーX」より、半分の時間で無力化。

■スギ花粉抑制の高濃度の「ナノイーX」検査結果<sup>※1</sup>  
99%抑制されるまでに要する時間



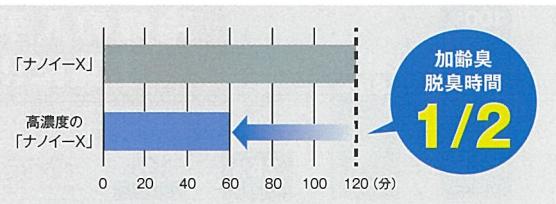
スギ花粉抑制時間  
1/2

加齢臭も、半分の時間で素早く低減。汗臭にも効果を発揮。

■加齢臭の脱臭の高濃度な「ナノイーX」脱臭評価<sup>※2</sup>  
臭気強度が1.8以上低下するまでに要する時間



\* イメージです。

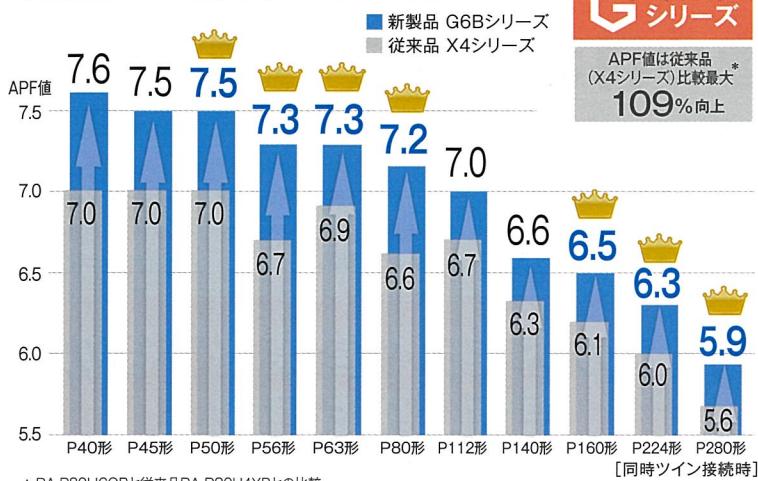


加齢臭脱臭時間  
1/2



## 省エネ 業界トップクラスを実現。

機能部品の徹底改善で実現。



G [高効率] シリーズ

APF値は従来品(X4シリーズ)比較最大<sup>\*</sup> 109%向上

ECONAVI

で、更に節電。

人の不在が継続した場合

冷房・ドライ	暖房
人の在室時より 更に温度を高くして運転	人の在室時より 更に温度を低くして運転

■人が不在時の省エネ効果。

[冷房] 最大約 28% [暖房] 最大約 39%

冷房: 5.88kWh → 4.225kWh 暖房: 2.17kWh → 1.33kWh

■湿度センサー搭載で、更に省エネ。

[冷房・暖房] 最大約 6% 冷房: 7.918kWh → 7.339kWh 暖房: 2.918kWh → 2.749kWh

\* 数値はあくまでも目安であり、使用方法等により異なります。  
\*\* 自社基準による算出結果であり、公的基準による測定方法とは異なります。

■商品・お取り扱い修理・工事などのご相談・お問い合わせはこちらまで

### ■発行

パナソニック株式会社  
ライフソリューションズ社  
マーケティング本部  
エアコン商品部

[〒105-8301]  
東京都港区東新橋1丁目5番1号

© Panasonic Corporation 2020  
本書からの無断の複製はかたくお断りします。  
このチラシの記載内容は令和2年5月現在のものです。  
ZBCT1E41J 202005-5YFC